

根来山げんきの森倶楽部

令和4年7月作業日誌



毎日暑い日が続いていますね。今回の活動日は酷暑の中、48人の倶楽部員が集まり、あじさいの剪定や歩道の整備、薪割りと各チーム一丸となり、大汗を流しながらも無事に作業を終えました。

活動日：令和4年7月17日(日) 9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：48人

『おおきなかぶ』のように一丸と

里山整備…午前、ふれあいの森の歩道の上で枯れたコナラの整理を10歳の若者からベテラン、大ベテランの先輩方、老若男女の9人で行いました。リーダー主導のもと、斜面の一番上、中ごろ、歩道の下3グループに分かれて行いました。斜面の中ごろにいる人が枯れた木を歩道まで下ろし、歩道にいる人が歩道下の人へと、木を次々とリレーのバトンのように手渡していきました。歩道下の方は木と木の間に横向きに置き、どンドンと積みあがっていきます。並行して一番上では、チェーンソーで枯れた部分が切り出され、斜面に落ちていた木が片付いたところで、「えい！」のかけ声とともに転がされてきました。落ちてくる木の勢いに注意しながら、太くて大きな木はみんなで協力して歩道下へ運びました。枯れ木で鬱蒼とした景色があつという間にきれいに片付き、スッキリした空間になりました。



午後からは、遊歩道の整備を行いました。遊歩道の端の丸太が朽ちてきているのを新しい丸太へと変える、丸太がない場所には新しく丸太を置く作業です。丸太、ロープ、杭、クワ、かけや、チェーンソーなどを用いて行いました。切り出されて置いてある丸太にロープをかけて運んでくる人、道の端を少し掘って丸太に合う溝を作る人など、役割分担がなされてスムーズに作業が進んでいきました。

大きな丸太を運ぶ際には力が足りず、「助け舟」を呼んで絵本の『おおきなかぶ』のようにみんなでロープを引っ張りあげました。丸太を支える杭が足りなくなり、チェーンソーで即興の杭を作る場面や、その杭をかけやで打ち込むのにクワを使って杭に角度をつけて打ち込む場面、打ち込み方など新人研修を終えたばかりの私にとって、目新しく学ぶことばかりでした。



きりの良いところでリーダーから終了のお声がかかり作業を終えました。みんなで協力して作業する楽しさと、一丸となってやり遂げる達成感が相まってとても充実した一日になりました。(藤原 美佐子)

あじさい広場すっきりと

あじさい広場の整備…リーダーの下、午前中は 8 人であじさいの剪定、午後はあじさい剪定の続きと草引きをしました。

リーダーが人数分用意してくれていた 70 センチの竹の棒をあじさいの真ん中に刺し、その高さを目安にして扇状に切っていました。来年もちゃんときれいに咲いてくれるか心配ですが、自分がカットした子を覚えて様子を見るのが楽しみです。

午後は 2 台の草刈機を使って広場全体の草を刈りました。散髪のとみみたいに広場はスッキリしました。(萬賀 伊津子)



大木整備に集中



うるし谷整備…本日のうるし谷へは 9 人の参加で、いずれもベテランクラスでした。特にマイチェーンソー持参が 3 人もおられ、予定の作業進行が楽しみでした。早速、作業道のそばの大木整備にかかりますが、切り倒したとき、植栽してある幼木が被害にあわないよう、上部の太枝へロープをかけ、安全な方へ引っ張りながら、チェーンソーで整備しました。

その大木を主幹と太い大枝はチェーンソーで玉切り。中枝、

小枝は手引き鋸や鉋、剪定鋏で裁断しました。大木でも 9 人それぞれが作業に集中し、効率よく終われたところで休憩。その後、急斜面に生え伸びた竹を切り捨て、午前の作業は終わりました。

午後は 4 人で谷溝浚えと作業道の延長線上の谷溝の橋作り、その前後のとりつけ道の整備に汗を流し、本日の作業は終了しました。午前、午後ともみなさんご苦労さんでした。(松下 喜代治)



来園者も興味津々の薪割り



炭焼きチームレポート…私たち炭焼きチームは皆さんの協力を得ながらの炭材確保から炭出しまでいくつかの過程を、女性 5 人を含む約 20 人がその都度汚れをいとわず各々が責任感とプライドを持って作業に徹しております。

そんな中、今回は炭釜斜面周辺の草刈りと薪割りを 2 組に分かれて終日行いましたが、たまたま昆虫採集に来られていたご家族が炭釜や薪割りを興味津々に見学してくれました(尚、ご家族の写真撮影やレポートへ

の添付は先方様の了解を得ています)。

末筆になりますが、しばらく放置されていた太幹の分割処理を助けて頂いた O 氏、H 氏両諸兄に心から御礼申し上げます。(西 勝信)

たくさんのクイ打ち歩道を整備



わんぱくの森遊歩道整備…先月に続いて、わんぱくの森の遊歩道整備をしました。Ha さんを先頭に、So さん、T さん、Hu さん、そして A の計 5 名での作業でした。

漆谷作業用に保管していたクイ 14 本を借り、森の広場に置いてくれている細いヒノキの丸太をテーラーに積み込んで作業開始です。前回 2 回はトイレ側から入って東屋の少し手前からもどってきましたが、今回は東側入り口から出発しました。路肩の土留めの腐っている丸太を取り除き、クイを打って新しい丸太を置き、

山側に積みあがっている土を崖側へ均しながら進んで行きました。

午前中に持っていたクイを使い切り、午後からはあちらこちらからクイになりそうなものをかき集めて持っていき、チェーンソーで先を尖らせながらの作業になりました。先に補修していた所まで辿り着いたところで終了にしました。クイ打ちは主に T さんと私の役でした。剛力 T さんはいざ知らず、今回は打った数が多かったのか私の方は筋肉痛がおこりそうな気配だったので、帰ってタイガーバウムを塗りました。(赤阪 進)

今年もカシノナガキクイムシ被害が目立ってきました。公園の奥よりも土仏付近での枯れが多いようです。

被害が始まって今年で 3 年目。他地域では 5 年前後で収まっているようなので、げんきの森でももう少し被害も広がるようです。

今年の特徴はヤマザクラに潜り込んでいるカシナガが多いことです。潜り込まれたヤマザクラは幹に無数の穴が穿たれ、そこからヤニが出ています。でも、ヤマザクラが枯れることはありません。

今年の秋も枯れたコナラの伐採で忙しそうです。(岡田 和久)